

# 茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成31年(2019年) 3月

## 1 東京都中央卸売市場(平成31年(2019年) 1-2月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約30万tで、前年比7%増、金額は約863億円で前年比14%減となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約3.6万tで、前年比6%増、金額は約69億円で前年比33%減となった。  
 (金額の内訳は、野菜約57億円、果実約11億円。前年同期比で野菜37%減、果実6%減、平年同期比で野菜18%減、果実1%増)  
 金額が【増加】した品目(前年対比)：きゅうり(113%)、かんしょ(104%)、ピーマン(104%)  
 金額が【減少】した品目(前年対比)：はくさい(25%)、こまつな(65%)、いちご(94%)
- ③ 茨城県の青果物入荷量は平年比4%増(シェア12.2%)、取扱金額は同15%減(シェア8.0%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1-2月計)			
	1-2月計	年間計	年間比	1-2月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H31(2019)	297,518		36,211	←シェア(12.2%)		13.4%	7.7%	3.4%	
	H30	279,246	1,907,279	14.6	34,102	225,946	15.1	12.4%	10.3%	3.5%
	(前年比)	107			106	シェア(12.2%)				
	平年値※	306,812	1,978,757	15.5	34,756	228,350	15.2			
	(平年比)	97			104	シェア(11.3%)				
金額	H31(2019)	86,266		6,885	←シェア(8.0%)		8.6%	3.6%	8.6%	
	H30	100,149	568,808	17.6	10,307	56,745	18.2	9.7%	3.3%	7.6%
	(前年比)	86			67	シェア(10.3%)				
	平年値※	92,020	563,980	16.3	8,098	57,101	14.2			
	(平年比)	94			85	シェア(8.8%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成26～30年の5カ年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成30年実績  
(1～12月計)

茨城県：金額シェア(10.0%)、数量シェア(11.8%)  
 千葉県：金額シェア(7.8%)、数量シェア(11.0%)  
 北海道：金額シェア(6.1%)、数量シェア(10.7%)

## 2 東京都中央卸売市場(平成31年2月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

( )内は前年対比

野菜類の入荷量は約16千トン(110%)、単価は170円(59%)、金額は約28億円(66%)

果実類の入荷量は約0.4千トン(75%)、単価は1,384円(117%)、金額は約5.8億円(88%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成26～30年同月の5カ年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)				金額(千円)			
			前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比	平年比	平年比(全国比)		前年比%	平年比
野菜	れんこん	639	91%	93%	92%	478	96%	88%	87%	305,774	87%	82%
	はくさい	8,834	111%	115%	104%	34	23%	43%	43%	301,860	25%	49%
	ほうれんそう	496	122%	118%	100%	422	66%	80%	84%	209,053	80%	95%
	レタス類	1,138	191%	125%	106%	183	47%	64%	73%	207,814	90%	80%
	野菜総計	16,377	110%	107%	98%	170	59%	75%	89%	2,786,047	66%	81%
果実	いちご類	417	75%	83%	96%	1,393	117%	119%	114%	580,532	88%	99%
	果実総計	421	75%	83%	94%	1,384	117%	119%	112%	583,073	88%	99%

(野菜)

れんこん 生育初期からの高温や数回の強風・台風の影響により、生育や肥大がばらついている。野菜全体に単価安傾向となっているため、前年・平年を下回る数量であるが単価も伸びず、金額も減少した。

はくさい 秋冬はくさいは出荷終盤となり下旬は上中旬と比べ数量は減少したが、肥大が良かったことなどから前年・平年を上回る出荷量となった。冷蔵出荷する兵庫県は前年比50%強程度と少なかったが、群馬県や埼玉県などからは前年以上に入荷し、前年比100%、平年比104%の数量となった。  
 気温の上昇とともに量販店では春野菜の売り場が広がり、はくさいの売り場は縮小され、単価も停滞した状態が続く見込み。

ほうれんそう 2月は日照時間は平年よりやや少なかったものの、気温が高く、生育は順調に推移し、出荷量は前年・平年を上回った。ほうれんそうだけでなく、こまつな等他品目の入荷も多かったことから、単価は平年比でも安値となった。

(果実)

いちご類 一時期の低温と日照時間がやや少なかったこと、2番果後半が小粒傾向だったことなどから出荷量が減少した。バレンタインやひな祭りなどの需要期に全国的に出荷量が伸び悩み不足となったことから、単価は前年・平年を上回ったが、数量不足が響き、金額は前年・平年を下回った。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出